

静岡県月例経済報告

(令和元年7月号)

……令和元年5月を中心とした県内経済のすがた……

No. 519

—静岡県経済産業部—

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	4
・需要面	4
・生産面	12
・雇用面	14
・その他	17
III 静岡県主要産業の動向	21
IV データからみた県内主要産業	24

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和元年5月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概況

令和元年5月を中心とした静岡県の景気は、一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している。

先行きについては、意欲的な設備投資計画などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、輸出、生産の回復状況と海外の政治経済情勢に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、緩やかに持ち直している。
- ・ 設備投資は、増加の動きがみられる。
- ・ 輸出は、増勢が鈍化している。
- ・ 生産は、増勢が鈍化している。

需要面

「個人消費は、緩やかに持ち直している」

大型小売店販売額(5月)は、百貨店が9か月連続、スーパーが2か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも2か月連続で前年実績を下回った。

専門量販店等販売額(5月)は、家電大型専門店が4か月連続、コンビニエンスストアが7か月連続、ドラッグストアが27か月連続、ホームセンターが2か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総額でも12か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(5月)は、乗用車、軽自動車がいずれも2か月連続で前年実績を上回ったことから、総数でも2か月連続で前年実績を上回った。

「住宅建設は、前年を上回った」

新設住宅着工戸数(5月)は、貸家が2か月連続で前年実績を下回ったものの、持家が9か月連続、分譲住宅が3か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

「公共投資は、前年を上回った」

公共工事請負金額(5月)は、2か月連続で前年実績を上回った。

「設備投資は、増加の動きがみられる」

日銀短観(令和元年7月1日)の令和元年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業では増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業では増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(5月)は、2か月連続で前年実績を下回った。

「輸出は、増勢が鈍化している」

「輸入は、前年を下回った」

輸出総額（5月）は、原動機が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、科学光学機器が前年実績と同水準、エアコン、二輪自動車類がいずれも3か月連続、自動車、自動車の部分品がいずれも2か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも2か月連続で前年実績を下回った。

また、輸入総額（5月）は、魚介類及び同調製品、原動機がいずれも2か月連続、木材が3か月連続で前年実績を上回ったものの、パルプが4か月連続、紙類及び同製品が3か月ぶり、自動車の部分品が2か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも3か月ぶりに前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、566億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、増勢が鈍化している」

鉱工業生産指数（4月）は、輸送機械が3か月連続、パルプ・紙・紙加工品が2か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械が9か月連続、電気機械が16か月連続、化学が2か月ぶり、食料品・たばこが2か月連続で前年水準を上回ったことから、総合でも2か月ぶりに前年水準を上回った。また、前月比は2か月ぶりに低下した。

なお、鉱工業在庫指数（4月）は、総合では9か月連続で前年水準を上回った。

雇用面

「雇用情勢は、改善の動きを続けている」

有効求人倍率（5月）は1.56倍で、前月を0.05ポイント下回った。また、64か月連続で1倍を上回った。なお、2か月連続で全国値を下回った。

雇用保険受給者実人員（5月）は、3か月ぶりに前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数（4月）は、3か月連続で前年実績を下回った。

その他

「金融環境は、貸出残高、信用保証金額のいずれも前年を下回った」

県内金融機関の貸出残高（5月）は、前年同月比 2.4%減と前年実績を下回った。

信用保証協会保証金額（5月）は、前年同月比 28.7%減と前年実績を下回った。

「企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を下回った」

企業倒産（6月）は、件数は14件（前年同月比 48.1%減）、負債総額は31億9,300万円（同 40.2%減）といずれも前年実績を下回った。

<トピックス> 「2019ふじのくに漁協へGO！！スタンプラリー」の開催

1 要旨

静岡県各地の漁港で水揚げされる地場水産物等を県内外からの観光客にPRし、地域の活性化を図るため、昨年に引き続き、「ふじのくに漁協へGo！！スタンプラリー」を開催します！！

今回のキャンペーンでは、静岡県の水産物をより身近に「見て、知って、味わって」もらえるよう、新たに漁協・漁港直営食堂17施設に加え、漁協が直営するダイビング施設や自治体が運営するお魚展示施設等10施設も対象施設に変わりました。

2 概要

(1) 主催

静岡県産水産物等PR推進部会

(静岡県産水産物等PR推進部会は静岡県産水産物の認知度向上と地域の活性化を図るため、県、県漁連、県信漁連、県加工連、その他関係団体によって設置された組織です。)

(2) 期間

令和元年7月15日(月) から 令和2年1月15日(水) まで

(3) 対象店

県内17カ所の漁協・漁港食堂、10カ所のおさかな体験施設(ダイビング施設、展示施設等)

※「漁協漁港食堂ポケットマップ」参照下さい

(4) 応募方法

対象施設をまわって、所定のスタンプを3つ以上集め、応募はがきに押印しポストに投函。抽選で、静岡県産水産物が当たります。

(5) 問合せ・応募先

ふじのくに漁協へGo！！スタンプラリー事務局(株式会社SBSプロモーション内)

電話番号 054-289-2450



【参照URL : <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-420/guide/news.html>】

Ⅱ 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

5 月 = 32,493百万円

*前年同月比： 2.4%減

(県内3百貨店、134スーパー合計)

<概況>

5月の大型小売店販売額は32,493百万円で、前年同月比 2.4%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 8.6%減）が9か月連続、スーパー（同 0.9%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

商品別では、衣料品（同 2.4%減）、家庭用品（同 2.5%減）がいずれも2か月連続、身の回り品（同 6.7%減）が5か月連続、飲食料品（同 1.7%減）が3か月ぶりに前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は1.4%減と、2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	30年10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月
販売額(百万円)	33,408	33,659	43,100	34,284	29,545	34,354	31,906	32,493
前年同月比(%)	▲0.8	▲2.3	0.6	▲6.5	▲4.5	1.7	▲2.0	▲2.4
うち百貨店(%)	▲1.6	▲1.4	▲2.8	▲3.5	▲0.9	▲1.1	▲3.3	▲8.6
スーパー(%)	▲0.6	▲2.6	1.6	▲7.3	▲5.3	2.4	▲1.7	▲0.9
(参考1)全国前年同月比(%)	▲0.8	▲2.1	▲1.0	▲3.3	▲1.8	0.6	▲1.8	▲0.5
うち百貨店(%)	1.1	▲1.1	▲1.3	▲3.3	▲0.1	▲0.2	▲1.5	▲1.1
スーパー(%)	▲1.8	▲2.6	▲0.8	▲3.4	▲2.7	1.0	▲1.9	▲0.2
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	▲0.6	▲1.2	1.3	▲5.8	▲4.1	3.1	▲1.0	▲1.4

(注) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	30年10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月
衣料品	▲7.0	▲5.8	▲2.1	▲6.7	▲7.2	0.8	▲7.3	▲2.4
うち紳士服・洋品	▲7.5	▲7.0	▲1.6	▲9.7	▲9.9	4.7	▲6.8	▲0.1
婦人・子供服・洋品	▲5.6	▲4.4	▲1.8	▲4.6	▲7.0	▲0.4	▲7.7	▲2.5
身の回り品	▲5.6	▲1.9	6.4	▲4.5	▲0.9	▲1.3	▲8.2	▲6.7
飲食料品	1.2	▲0.6	1.5	▲6.1	▲4.2	2.1	0.3	▲1.7
家庭用品	▲0.6	▲9.0	▲4.8	▲15.0	▲8.9	6.4	▲2.4	▲2.5
うち家庭用電気機械器具	8.4	▲6.7	0.7	▲1.5	1.4	14.6	12.2	16.0

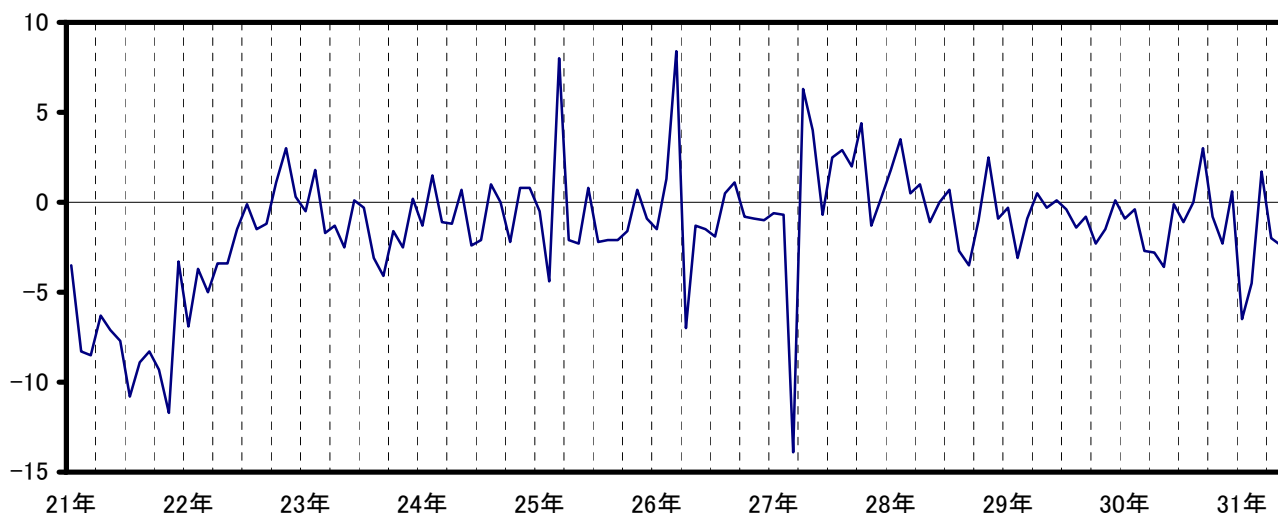
(注) 店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 専門量販店等販売額

5月 = 69,548百万円

*前年同月比： 3.4%増

(県内87家電大型専門店、1,693コンビニエンスストア、492ドラッグストア、105ホームセンター合計)

<概況>

5月の専門量販店等販売額は69,548百万円で、前年同月比 3.4%増となり、12か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店（前年同月比 7.2%増）が4か月連続、コンビニエンスストア（同 2.1%増）が7か月連続、ドラッグストア（同 5.0%増）が27か月連続、ホームセンター（同 1.2%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	30年10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月
販売額（百万円）	67,010	65,321	78,121	66,381	60,495	71,028	67,913	69,548
前年同月比（%）	4.1	1.1	2.5	2.6	3.0	3.8	1.9	3.4
うち 家電大型専門店（%）	1.4	▲ 2.5	3.7	▲ 0.5	0.8	5.5	0.8	7.2
コンビニエンスストア（%）	▲ 0.1	0.8	2.1	1.9	2.8	0.9	2.0	2.1
ドラッグストア（%）	7.4	4.9	4.4	6.3	5.6	8.5	4.8	5.0
ホームセンター（%）	15.5	▲ 1.4	0.1	▲ 1.1	▲ 1.7	0.6	▲ 4.2	1.2
(参考) 全国前年同月比（%）	2.0	1.2	3.0	2.2	2.7	3.0	1.6	4.3

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

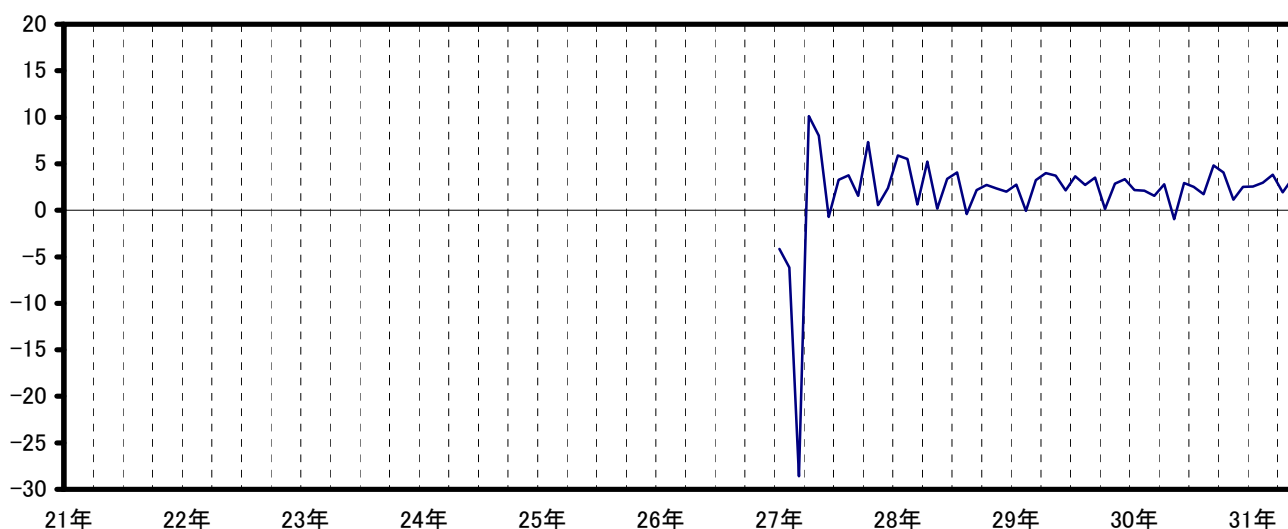
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比（%）

<資料>経済産業省



(3) 自動車(新車)新規登録台数**5月 = 13,456 台**

*前年同月比： 9.1%増

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

5月の自動車(新車)新規登録台数は13,456台(前年同月比 9.1%増)と、2か月連続で前年実績を上回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比 3.1%増)、軽自動車(同 17.0%増)がいずれも2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	30年10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月
登録台数(台)	14,092	14,723	13,208	15,664	17,761	22,140	12,617	13,456
前年同月比(%)	13.8	9.6	1.2	2.0	▲0.7	▲4.6	6.2	9.1
(参考)全国前年同月比(%)	11.6	7.4	▲3.2	0.9	▲0.1	▲5.3	3.3	6.4

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

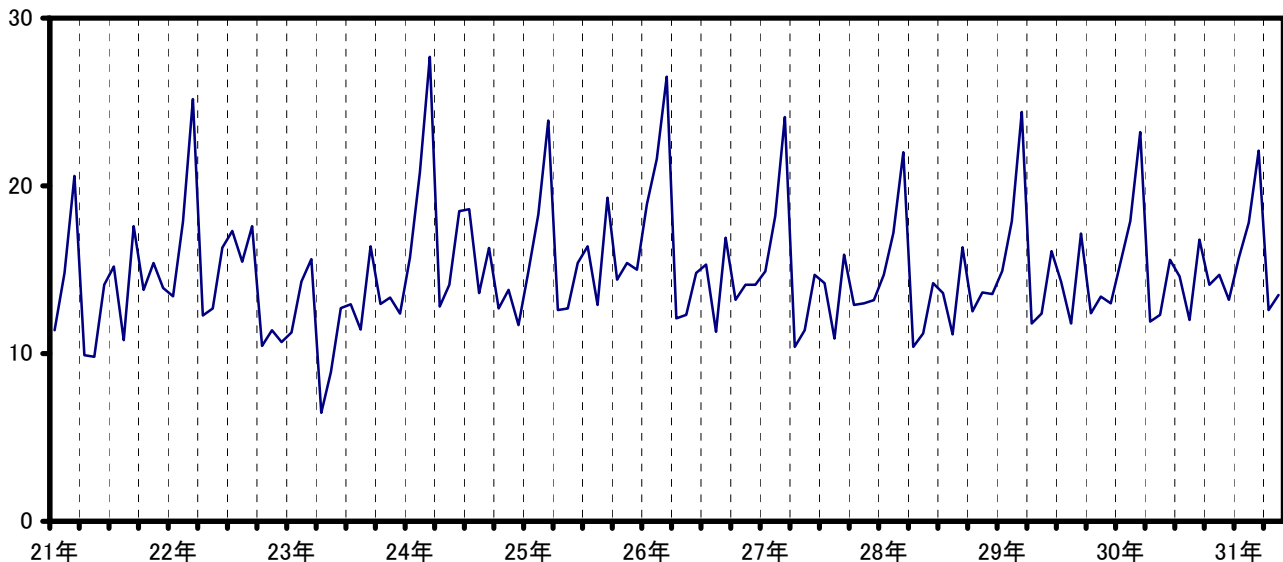
	30年10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月
全乗用車	13.8	9.6	1.2	2.0	▲0.7	▲4.6	6.2	9.1
乗用車	15.7	9.8	▲2.4	3.2	▲2.9	▲7.3	4.3	3.1
軽自動車	11.6	9.3	6.0	0.7	2.0	▲1.1	8.4	17.0

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

5月 = 2,110 戸

*前年同月比： 0.1%増

<概況>

5月の新設住宅着工戸数は2,110戸で、前年同月比 0.1%増と、2か月ぶりに前年実績を上回った。

利用関係別にみると、貸家（前年同月比 26.6%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、持家（同 11.0%増）が9か月連続、分譲住宅（同 20.4%増）が3か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

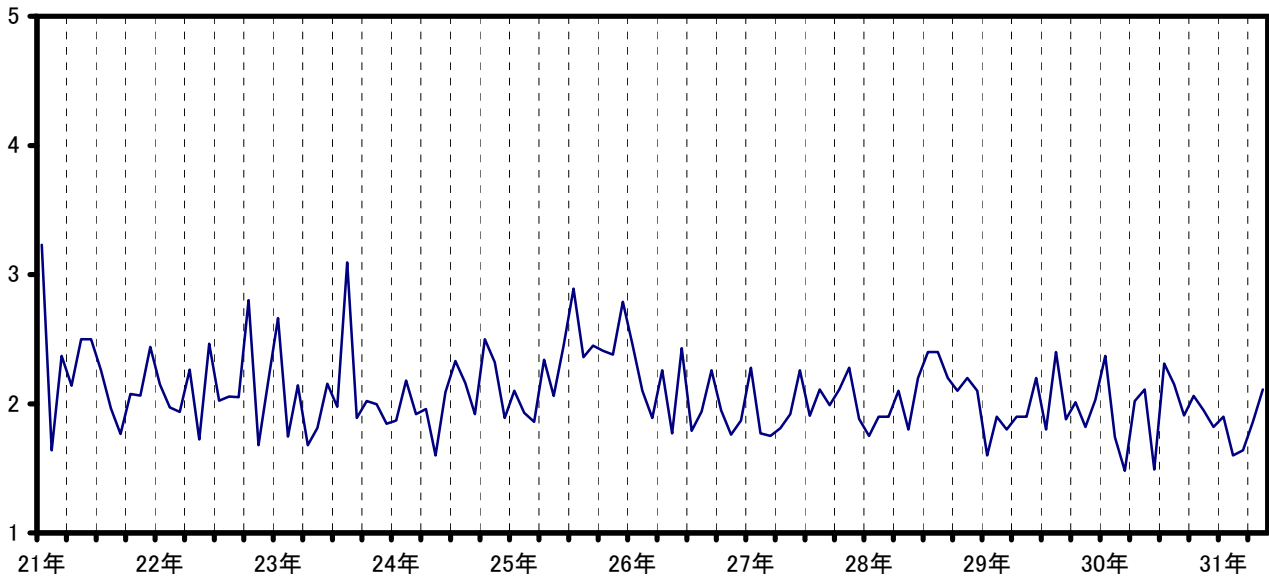
	30年10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月
戸数 (戸)	2,059	1,950	1,821	1,897	1,603	1,642	1,855	2,110
前年同月比 (%)	2.3	7.1	▲ 10.4	▲ 19.9	▲ 8.0	10.7	▲ 7.9	0.1
うち持家 (%)	8.3	3.7	2.7	1.9	7.7	8.6	0.1	11.0
貸家 (%)	▲ 7.5	19.2	▲ 25.3	▲ 11.8	▲ 8.4	15.8	▲ 35.0	▲ 26.6
分譲住宅 (%)	5.8	▲ 2.0	▲ 15.6	▲ 61.1	▲ 36.7	8.1	23.8	20.4
(参考)全国前年同月比 (%)	0.3	▲ 0.6	2.1	1.1	4.2	10.0	▲ 5.7	▲ 8.7

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



3 公共工事請負金額

5月 = 32,518百万円

*前年同月比： 6.0%増

(建設保証会社保証実績)

<概況>

5月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は32,518百万円で、前年同月比6.0%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は573件で、前年同月比1.6%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	30年10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月
金額(百万円)	23,847	14,829	22,329	9,431	10,706	14,499	81,539	32,518
前年同月比(%)	12.5	6.2	70.9	▲1.5	28.6	▲11.4	32.7	6.0
年度累計前年同月比(%)	8.7	8.6	11.8	11.3	11.8	10.5	32.7	23.8
件数(件)	738	690	719	315	166	268	559	573
前年同月比(%)	1.2	3.4	3.6	▲14.6	▲10.3	37.4	▲4.6	1.6
年度累計前年同月比(%)	3.6	3.5	3.5	2.6	2.3	3.2	▲4.6	▲1.6

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

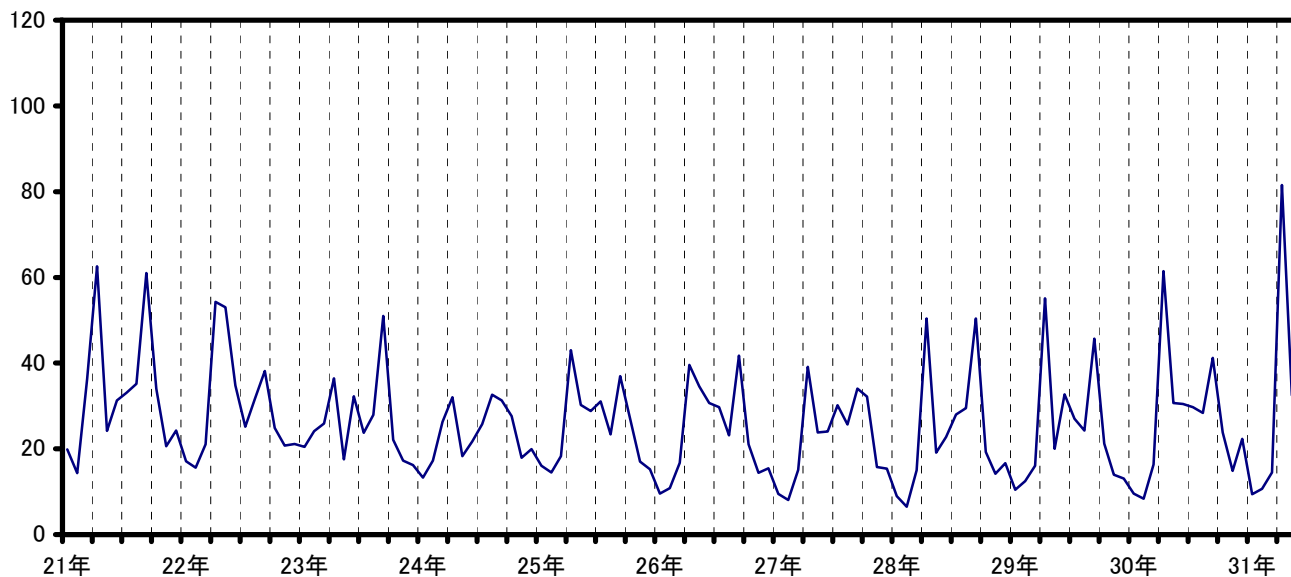
	30年10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月
国	▲25.9	▲29.2	8,054.0	130.2	58.0	43.6	64.0	▲61.3
独立行政法人等	424.5	164.3	▲4.1	▲4.8	▲21.9	▲79.9	53.4	206.6
県	2.4	▲12.1	18.4	▲62.0	35.0	▲49.5	▲14.7	16.6
市町	14.6	▲0.8	98.3	68.3	35.2	34.1	42.6	66.0
地方公社	290.5	467.9	912.0	▲98.3	-	-	2.1	▲94.4
その他	▲58.2	440.5	511.2	14.7	19.1	647.0	34.2	▲56.3

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

平成30年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業で減少、非製造業で増加し、全産業で増加の計画となっている。ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加の計画となっている。

令和元年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 24.3%増）で増加、非製造業（同 2.8%減）で減少し、全産業（同 10.6%増）では増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 13.3%増）で増加、非製造業（同 0.5%減）で減少し、全産業（同 9.5%増）では増加する計画となっている。

5月の着工建築物床面積（非居住用）は149,579㎡で、前年同月比 16.8%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比% 設備投資（含む土地投資）

		30年度 (実績)	R1年度 (計画)
全産業	県	(▲4.2) 5.7	(0.3) 10.6
	全国	(▲3.5) 6.6	(1.7) 2.3
製造業	県	(▲7.8) ▲2.1	(▲0.6) 24.3
	全国	(▲2.2) 8.6	(3.2) 7.7
非製造業	県	(▲0.3) 14.7	(1.5) ▲2.8
	全国	(▲4.2) 5.4	(0.7) ▲0.8

（ ）内は前回調査比修正率 ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		30年度 (実績)	R1年度 (計画)
全産業	県	(▲3.7) 7.2	(0.4) 9.5
	全国	(▲3.6) 5.1	(1.5) 5.7
製造業	県	(▲5.1) 4.4	(▲0.4) 13.3
	全国	(▲2.4) 5.8	(2.1) 6.7
非製造業	県	(0.0) 15.3	(2.8) ▲0.5
	全国	(▲4.8) 4.4	(0.8) 4.6

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和元年6月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(令和元年6月調査)」

<最近の動き>

	30年10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	115,833	87,374	212,110	68,477	153,005	76,766	79,421	149,579
前年同月比（%）	▲ 1.5	▲ 9.6	94.6	▲ 21.0	24.1	21.0	▲ 19.9	▲ 16.8
(参考) 全国前年同月比（%）	▲ 3.2	▲ 7.0	15.3	1.0	▲ 15.1	▲ 19.3	▲ 4.0	▲ 0.5

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

	31年3月	R1年6月	R1年9月 (予測)
全 産 業	11	5	0
製 造 業	9	2	▲5
非 製 造 業	13	9	6
(参考) 全国 ・ 全産業	12	10	4

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和元年6月調査)」

5 輸出

5 月 = 152,473百万円

* 前年同月比： 3.6%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

5月の清水税関支署管内の輸出総額は152,473百万円で、前年同月比 3.6%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、原動機（前年同月比 22.3%増）が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、エアコン（同 7.8%減）、二輪自動車類（同 13.2%減）がいずれも3か月連続、自動車（同 27.5%減）、自動車の部分品（同 13.0%減）がいずれも2か月連続で前年実績を下回った。科学光学機器は前年実績と同水準だった。

地域別にみると、米国向け（前年同月比 3.9%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、アジア向け（同 4.1%減）、EU向け（同 5.3%減）がいずれも2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	30年10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月
輸出総額(百万円)	186,631	180,101	211,171	151,102	180,525	201,905	170,166	152,473
前年同月比(%)	0.6	0.7	6.0	▲4.0	3.6	8.0	▲9.7	▲3.6

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月
原動機	38.9	21.1	15.9	▲0.9	10.9	8.6	▲4.6	22.3
エアコン	▲20.4	▲8.1	16.6	▲5.0	30.4	▲13.5	▲16.0	▲7.8
自動車	▲25.8	▲11.6	10.0	165.9	▲13.5	77.2	▲38.3	▲27.5
自動車の部分品	▲2.8	▲9.6	▲4.9	▲13.2	▲7.6	0.8	▲13.0	▲13.0
二輪自動車類	▲17.9	▲7.8	▲0.5	▲8.6	2.7	▲15.7	▲31.8	▲13.2
科学光学機器	▲5.4	▲10.8	▲30.7	▲17.6	5.0	25.0	25.9	0.0

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月
アジア	2.8	▲0.3	▲2.8	▲12.2	2.5	5.1	▲4.0	▲4.1
米国	18.7	11.0	2.4	▲4.3	8.1	▲0.1	3.4	3.9
EU	▲20.0	▲7.4	17.6	20.0	7.0	30.6	▲24.0	▲5.3

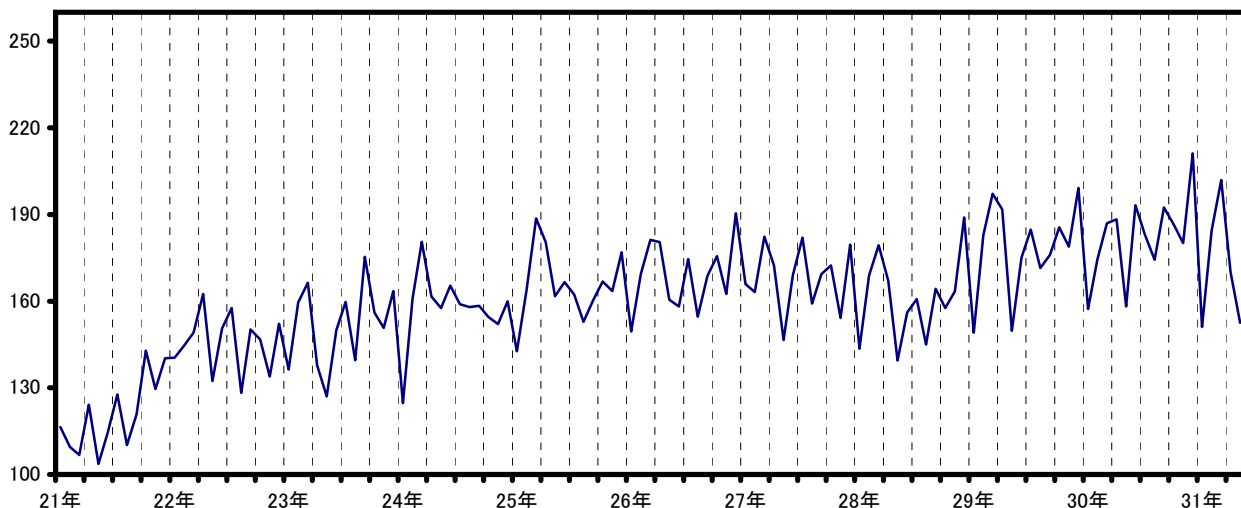
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

5月 = 95,920百万円

*前年同月比： 2.4%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

5月の清水税関支署管内の輸入総額は95,920百万円で、前年同月比 2.4%減となり、3か月ぶりに前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、魚介類及び同調製品（前年同月比 9.1%増）、原動機（同 10.0%増）がいずれも2か月連続、木材（同 19.4%増）が3か月連続で前年実績を上回ったものの、パルプ（同 5.7%減）が4か月連続、紙類及び同製品（同 2.2%減）が3か月ぶり、自動車の部分品（同 11.9%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

地域別では、米国から（前年同月比 13.9%増）が2か月ぶり、EUから（同 9.0%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、アジアから（同 8.0%減）が8か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	30年10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月
輸入総額(百万円)	105,004	97,059	100,856	104,381	77,463	90,871	101,284	95,920
前年同月比(%)	43.2	8.3	13.1	16.2	▲ 9.1	15.3	8.0	▲ 2.4

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月
魚介類及び同調製品	35.3	▲ 21.6	4.3	▲ 7.3	0.7	▲ 21.4	21.8	9.1
木材	2.3	▲ 26.4	▲ 12.0	8.7	▲ 26.3	2.1	1.6	19.4
パルプ	81.0	13.8	▲ 27.5	37.5	▲ 29.0	▲ 16.1	▲ 3.8	▲ 5.7
紙類及び同製品	5.2	▲ 18.6	8.8	37.1	▲ 11.0	9.7	17.9	▲ 2.2
原動機	40.0	53.9	▲ 1.2	87.9	36.4	▲ 10.4	45.7	10.0
自動車の部分品	30.7	44.4	61.6	▲ 6.0	6.8	2.7	▲ 14.0	▲ 11.9

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

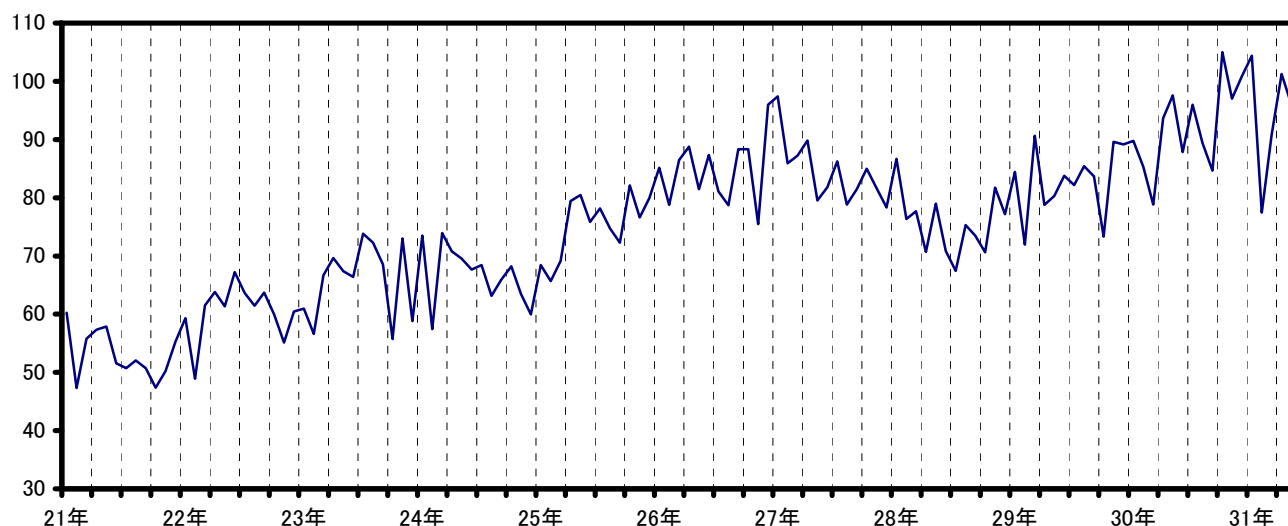
	30年10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月
アジア	35.1	25.7	9.3	11.0	3.5	13.8	8.9	▲ 8.0
米国	▲ 13.8	2.4	▲ 2.8	16.4	▲ 27.1	22.5	▲ 20.4	13.9
EU	55.9	▲ 5.2	▲ 7.4	▲ 14.0	17.1	▲ 4.0	42.2	9.0

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

4月 = 103.2

(平成27年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 2.3%減

*前年同月比(原指数) : 3.3%増

<概況>

4月の鉱工業生産指数(総合)は103.2(季節調整済指数)で、前月比2.3%減と、2か月ぶりに低下した。また、前年同月比(原指数)は3.3%増と、2か月ぶりに前年水準を上回った。
業種別にみると、輸送機械(前年同月比1.3%減)が3か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同2.6%減)が2か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同17.2%増)が9か月連続、電気機械(同1.3%増)が16か月連続、化学(同11.1%増)が2か月ぶり、食料品・たばこ(同1.3%増)が2か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	30年9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
指数	107.6	109.0	107.7	107.1	104.0	101.1	105.6	103.2
前月比(%)	2.9	1.3	▲1.2	▲0.6	▲2.9	▲2.8	4.5	▲2.3
前年同月比(%)	2.3	4.2	5.2	2.1	4.6	0.5	0.0	3.3
(参考)全国前年同月比(%)	▲2.5	4.2	1.5	▲1.9	0.0	▲1.0	▲4.6	▲1.1

(注)平成27年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
はん用・生産用・業務用機械工業	8.4	4.1	6.0	1.6	19.0	6.7	1.0	17.2
電気機械工業	23.8	22.7	11.3	6.8	13.2	13.9	1.2	1.3
輸送機械工業	▲1.0	▲0.4	2.1	0.7	0.0	▲5.6	▲3.9	▲1.3
化学工業	▲2.0	5.1	9.7	▲0.8	1.1	4.4	0.0	11.1
パルプ・紙・紙加工品工業	▲0.2	▲0.1	2.6	▲3.3	0.1	1.0	▲2.4	▲2.6
食料品・たばこ工業	▲0.1	6.5	4.8	3.4	4.8	▲4.6	7.0	1.3

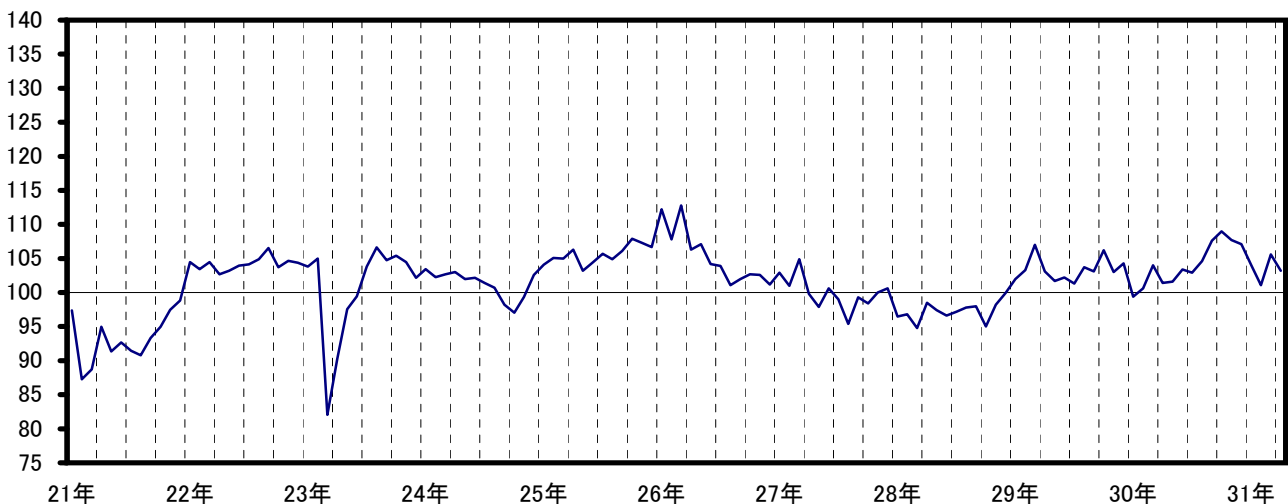
(注)平成27年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



(2) 鋳工業在庫指数

4 月 = 111.4

(平成27年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 3.0%減

*前年同月比(原指数) : 3.2%増

<概況>

4月の鋳工業在庫指数(総合)は111.4(季節調整済指数)で、前月比は3.0%減と、2か月ぶりに低下した。また、前年同月比(原指数)は3.2%増と、9か月連続で前年水準を上回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫積み上がり局面(景気後退初期)」に該当する。

業種別にみると、電気機械(前年同月比0.3%減)が4か月ぶり、輸送機械(同32.4%減)が4か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同3.1%減)が22か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同29.3%増)が4か月連続、化学(同9.6%増)が25か月連続、食料品・たばこ(同13.2%増)が2か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	30年9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
指数	116.8	111.0	108.5	114.1	108.8	108.1	114.8	111.4
前月比(%)	7.2	▲5.0	▲2.3	5.2	▲4.6	▲0.6	6.2	▲3.0
前年同月比(%)	11.8	1.5	1.9	9.9	4.8	0.2	2.1	3.2
(参考)全国前年同月比(%)	3.5	▲0.7	0.6	1.9	1.2	1.4	0.4	1.2

(注)平成27年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲3.4	▲3.1	0.6	▲0.7	12.2	13.7	16.6	29.3
電気機械工業	▲4.0	▲6.2	▲7.8	▲3.8	4.4	1.0	0.3	▲0.3
輸送機械工業	2.1	▲9.0	▲9.0	0.8	▲25.1	▲41.4	▲38.2	▲32.4
化学工業	61.2	22.7	15.4	56.7	36.1	26.1	15.2	9.6
パルプ・紙・紙加工品工業	▲1.3	▲8.4	▲7.2	▲11.1	▲6.7	▲4.0	▲1.5	▲3.1
食料品・たばこ工業	▲1.0	0.2	14.1	4.2	0.9	▲7.7	12.5	13.2

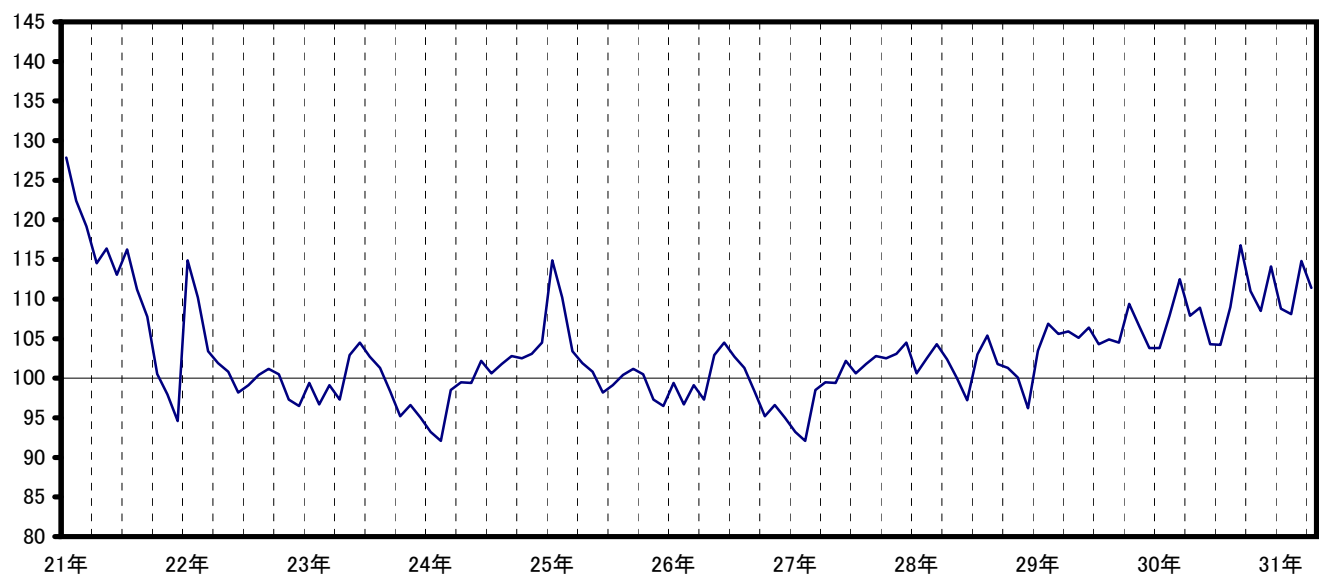
(注)平成27年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

5 月 = 1.56倍

*前月比 (季節調整値) : 0.05ポイント減

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

<概 況>

5月の有効求人倍率(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)は1.56倍となり、前月を0.05ポイント下回った。また、2か月連続で全国値を下回った。新規求人(学卒、パートタイムを除く)(前年同月比12.1%減)は9か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、建設業(同2.2%減)が3か月連続、製造業(同18.3%減)が6か月連続、情報通信業(同8.4%減)が9か月連続、運輸業・郵便業(同6.2%減)、が3か月ぶり、卸売業・小売業(同16.2%減)が2か月連続、医療・福祉(同0.4%減)が12か月連続、サービス業(他に分類されないもの)(同29.8%減)が2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

(単位:倍)

	30年10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月
県	1.66	1.66	1.66	1.69	1.69	1.67	1.61	1.56
全 国	1.62	1.63	1.63	1.63	1.63	1.63	1.63	1.62

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月
建 設 業	▲ 8.5	▲ 1.2	▲ 12.1	▲ 10.0	9.0	▲ 15.2	▲ 4.9	▲ 2.2
製 造 業	16.7	10.5	▲ 9.8	▲ 5.8	▲ 0.4	▲ 11.6	▲ 6.5	▲ 18.3
情 報 通 信 業	▲ 31.1	▲ 3.7	▲ 8.7	▲ 45.5	▲ 11.8	▲ 10.7	▲ 41.5	▲ 8.4
運 輸 業 ・ 郵 便 業	6.5	17.1	▲ 8.8	3.4	▲ 2.5	7.8	0.1	▲ 6.2
卸 売 業 ・ 小 売 業	▲ 11.4	▲ 14.1	19.3	▲ 11.1	▲ 11.9	7.2	▲ 25.4	▲ 16.2
医 療 ・ 福 祉	▲ 10.1	▲ 4.4	▲ 0.6	▲ 12.1	▲ 3.0	▲ 1.8	▲ 6.2	▲ 0.4
サービス業(他に分類されないもの)	▲ 4.5	▲ 1.4	▲ 26.1	11.4	▲ 13.0	▲ 15.3	1.7	▲ 29.8
合 計	▲ 1.3	▲ 0.2	▲ 6.9	▲ 3.1	▲ 2.3	▲ 6.6	▲ 5.8	▲ 12.1

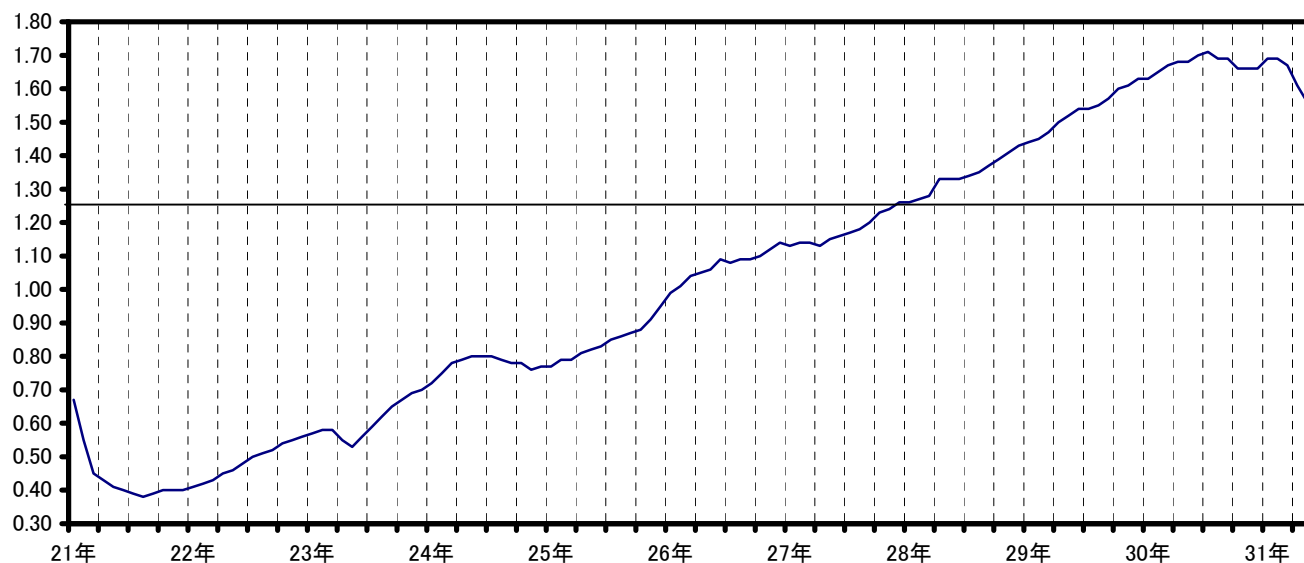
(注)学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

5月 = 10,787人

*前月比: 10.9%増

*前年同月比: 0.5%減

<概況>

5月の雇用保険受給者実人員は10,787人で、前月比は10.9%増と、2か月連続で前月を上回った。また、前年同月比は0.5%減と3か月ぶりに前年実績を下回った。

完全失業率(全国)は2.4%で、前月と同水準だった。

静岡県(平成31年1~3月)の完全失業率は1.7%で、前期(30年10~12月)から0.1ポイント改善した。

<最近の動き>

	30年10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月
実人員(人)	10,885	10,196	9,577	9,922	9,522	9,466	9,725	10,787
前月比(%)	2.6	▲6.3	▲6.1	3.6	▲4.0	▲0.6	2.7	10.9
前年同月比(%)	▲2.0	▲6.0	▲6.8	▲2.3	▲1.1	0.1	5.3	▲0.5
(参考)全国前年同月比(%)	0.8	▲1.0	▲0.7	1.4	1.8	0.8	6.6	▲0.3

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	30年10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月
完全失業率(全国)(%)	2.4	2.5	2.4	2.5	2.3	2.5	2.4	2.4

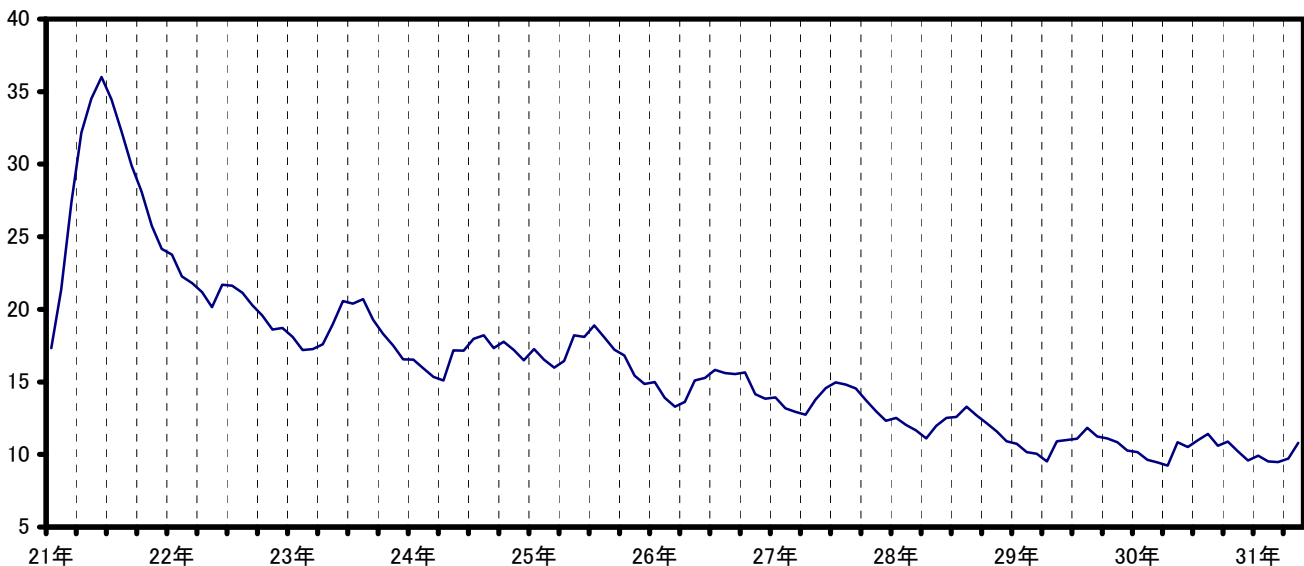
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

4 月 = 92.4

*前月比(季節調整済指数): 0.5%減

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 1.5%減

<概況>

4月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は92.4(季節調整済指数)で、前月比0.5%減となった。また、前年同月比(原指数)は1.5%減と3か月連続で前年実績を下回った。

業種別にみると、建設業(前年同月比94.7%増)、医療・福祉(同20.9%増)がいずれも4か月連続、情報通信業(同77.5%増)が18か月連続、卸売業・小売業(同3.6%増)が6か月連続で前年実績を上回ったものの、製造業(同10.1%減)が6か月連続、運輸業・郵便業(同2.4%減)が5か月連続で前年実績を下回った。その他のサービス業は、前年実績と同水準だった。

<最近の動き>

	30年9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
指数	91.1	96.4	97.3	91.5	95.1	95.2	92.9	92.4
前月比(%)	▲7.0	5.8	0.9	▲6.0	3.9	0.1	▲2.4	▲0.5
前年同月比(%)	▲13.4	▲7.3	▲7.7	▲8.7	2.4	▲0.7	▲1.6	▲1.5
(参考)全国前年同月比(%)	▲2.4	0.8	▲0.7	▲3.0	0.9	0.8	▲0.8	0.8

*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
建設業	▲62.4	▲44.6	▲52.6	▲49.0	163.6	159.3	151.5	94.7
製造業	▲7.0	1.6	▲3.3	▲3.6	▲5.4	▲6.4	▲9.7	▲10.1
情報通信業	85.7	105.8	88.8	71.4	57.5	52.6	60.9	77.5
運輸業・郵便業	▲10.1	▲10.5	1.5	▲2.7	▲3.7	▲17.8	▲3.6	▲2.4
卸売業・小売業	6.4	▲2.6	21.0	11.7	11.6	15.7	4.3	3.6
医療・福祉	▲20.4	▲16.1	2.8	▲11.7	6.1	30.1	40.8	20.9
その他のサービス業	6.8	7.4	▲2.4	4.2	20.8	11.0	15.6	0.0
調査産業計	▲13.4	▲7.3	▲7.7	▲8.7	2.4	▲0.7	▲1.6	▲1.5

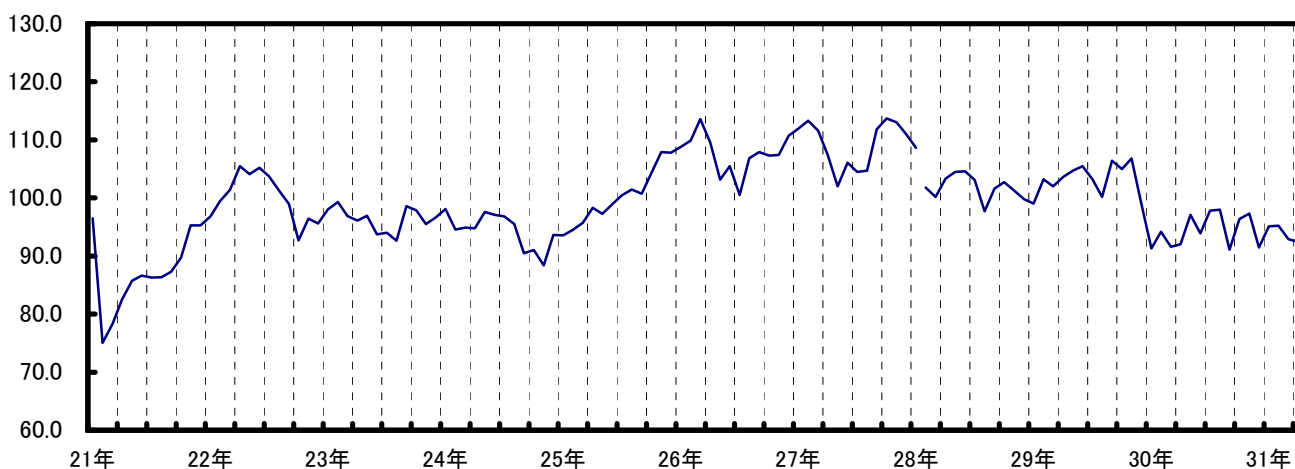
*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

6 月 = 101.2

(平成27年=100)

*前 月 比: 0.5%下落

*前年同月比: 0.1%下落

<概 況>

6月の国内企業物価指数は101.2となり、前月比は0.5%の下落となった。また、前年同月比は0.1%の下落となった。

<最近の動き>

	30年11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月	6月
国内企業物価指数	102.1	101.4	100.9	101.2	101.5	101.8	101.7	101.2
前 月 比 (%)	▲ 0.3	▲ 0.7	▲ 0.5	0.3	0.3	0.3	▲ 0.1	▲ 0.5
前年同月比 (%)	2.3	1.4	0.6	0.9	1.3	1.2	0.6	▲ 0.1

*平成27年=100

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

5 月 = 135,374億円

(銀行、信用金庫)

*前 月 比: 0.5%減

*前年同月比: 2.4%減

<概 況>

5月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は135,374億円で、前月比は0.5%の減少となった。また、前年同月比は2.4%の減少となった。

	30年10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月
貸出残高(億円)	137,361	137,406	138,841	137,565	137,331	138,361	136,078	135,374
前 月 比 (%)	▲ 1.1	0.0	1.0	▲ 0.9	▲ 0.2	0.8	▲ 1.7	▲ 0.5
前年同月比 (%)	▲ 1.4	▲ 1.6	▲ 1.9	▲ 1.5	▲ 1.5	▲ 1.6	▲ 2.2	▲ 2.4

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

5 月 = 1.833%

(県内地銀4行総平均)

*前 月 差: 0.011ポイント減

*前年同月差: 0.215ポイント減

<概 況>

5月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.833%で、前月から0.011ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.215ポイントのマイナスとなった。

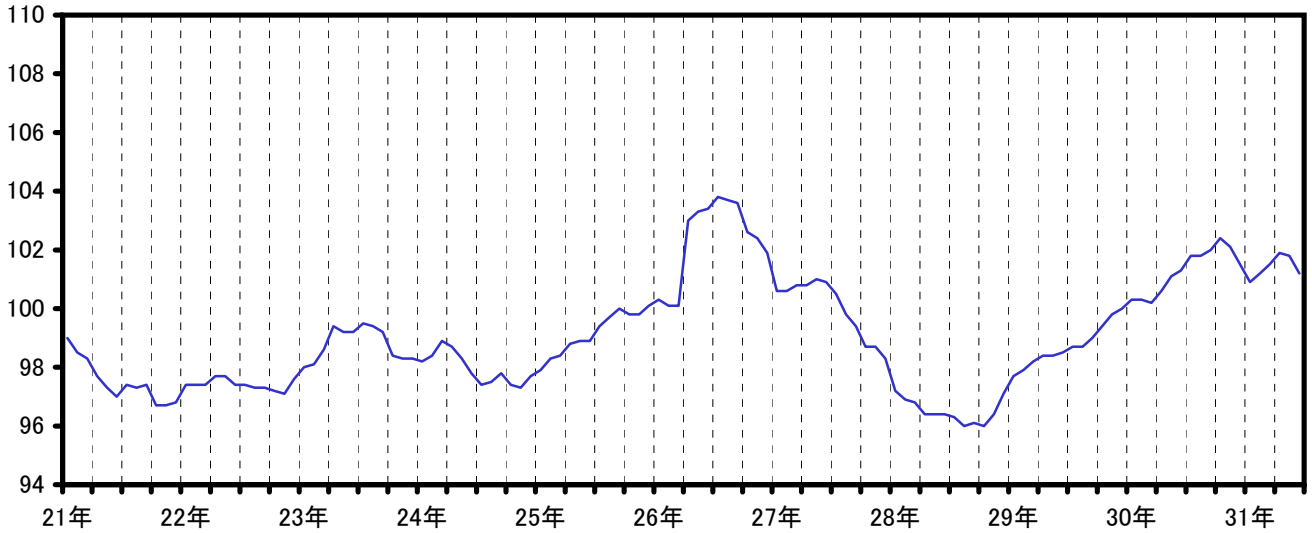
	30年10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月
貸出約定金利(%)	1.970	1.952	1.925	1.920	1.909	1.885	1.844	1.833
前月差(ポイント)	▲ 0.007	▲ 0.018	▲ 0.027	▲ 0.005	▲ 0.011	▲ 0.024	▲ 0.041	▲ 0.011
前年同月差(ポイント)	▲ 0.153	▲ 0.165	▲ 0.173	▲ 0.186	▲ 0.191	▲ 0.187	▲ 0.226	▲ 0.215

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

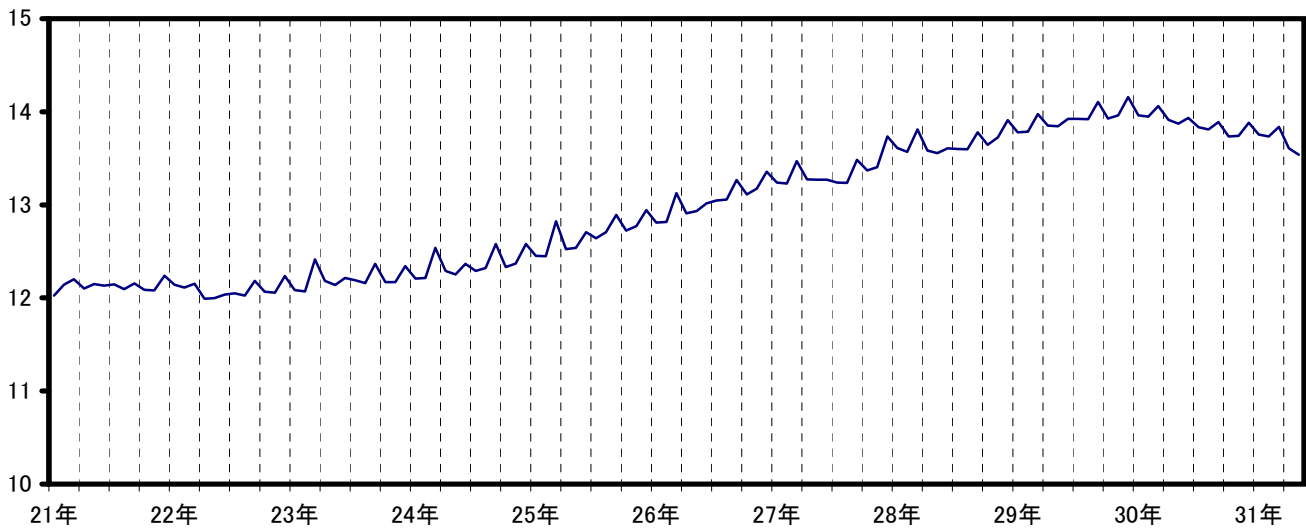
国内企業物価指数(平成27年=100)

<資料>日本銀行



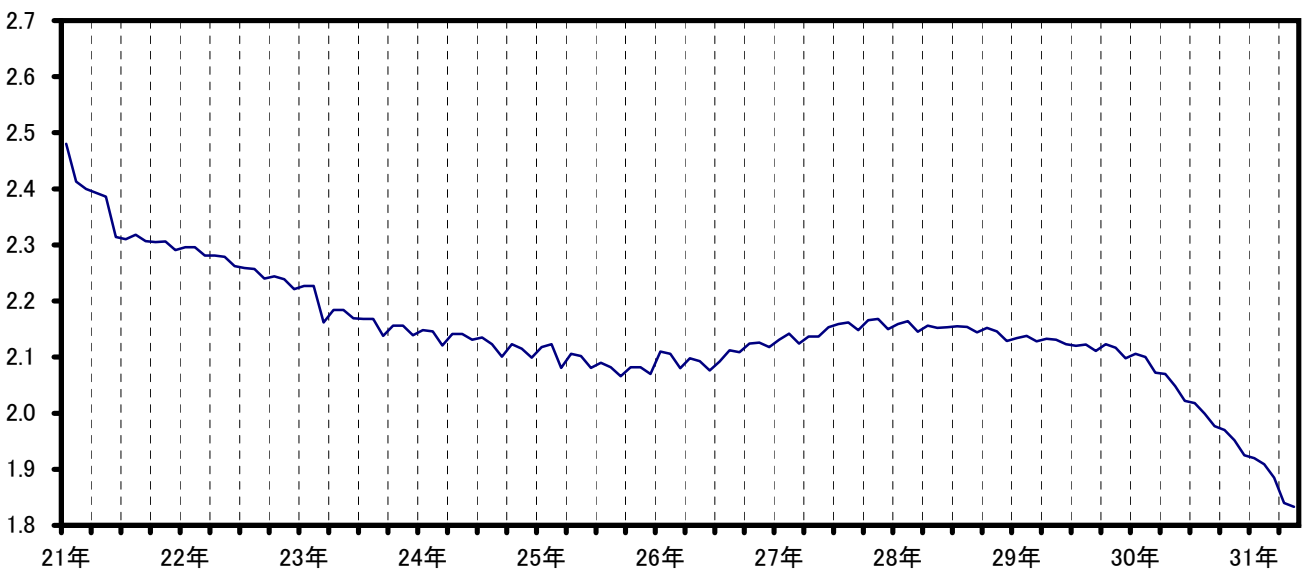
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**5月 = 12,821百万円**

*前年同月比： 28.7%減

<概況>

5月の保証承諾は、金額は12,821百万円（前年同月比 28.7%減）、件数は1,406件（同 11.3%減）と、いずれも7か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	30年10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月
保証金額（百万円）	16,121	17,768	19,565	12,720	16,016	19,263	11,215	12,821
前年同月比（%）	1.5	▲ 12.0	▲ 16.3	▲ 6.7	▲ 7.5	▲ 20.2	▲ 7.2	▲ 28.7
保証件数（件）	1,692	1,744	1,889	1,340	1,593	1,927	1,339	1,406
前年同月比（%）	3.5	▲ 9.6	▲ 18.5	▲ 9.8	▲ 12.7	▲ 16.7	▲ 5.8	▲ 11.3

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**6月 = 108.06円/ドル**

*前月差： 1.77円高

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差： 1.97円高

<概況>

6「月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は108.06円で、前月と比べて1.77円の円高となり、2か月連続で円高となった。

<最近の動き>

	30年11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月	6月
平均相場（円）	113.37	112.45	108.95	110.36	111.21	111.66	109.83	108.06
前月差（円）	0.59	▲ 0.92	▲ 3.50	1.41	0.85	0.45	▲ 1.83	▲ 1.77
前年同月差（円）	0.45	▲ 0.52	▲ 1.82	2.54	1.52	4.23	0.14	▲ 1.97

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****6月 = 14件**

*前年同月比： 48.1%減

<概況>

6月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は14件（前年同月比 48.1%減）と、前年同月比を下回り、負債総額は3,193百万円（同 40.2%減）と、前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が12件と全体の85.7%を占め、259か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

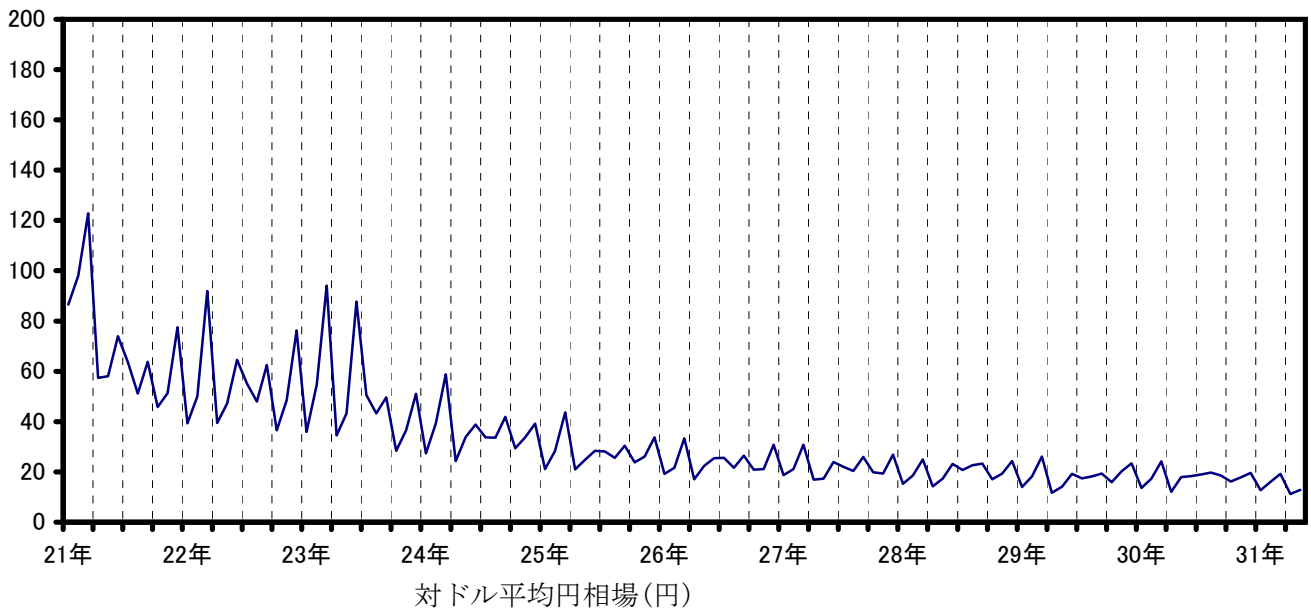
	30年11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月	6月
倒産件数（件）	17	17	15	12	12	16	17	14
前年同月比（%）	▲ 19.0	13.3	▲ 16.6	▲ 45.4	▲ 53.8	33.3	▲ 29.1	▲ 48.1
うち不況型倒産件数（件）	15	17	15	9	12	15	14	12
負債総額（百万円）	2,238	2,489	1,235	1,495	4,320	2,457	1,847	3,193
前年同月比（%）	▲ 73.3	98.3	▲ 47.8	▲ 44.3	40.9	16.2	▲ 39.7	▲ 40.2

<資料>（株）東京商工リサーチ静岡支社

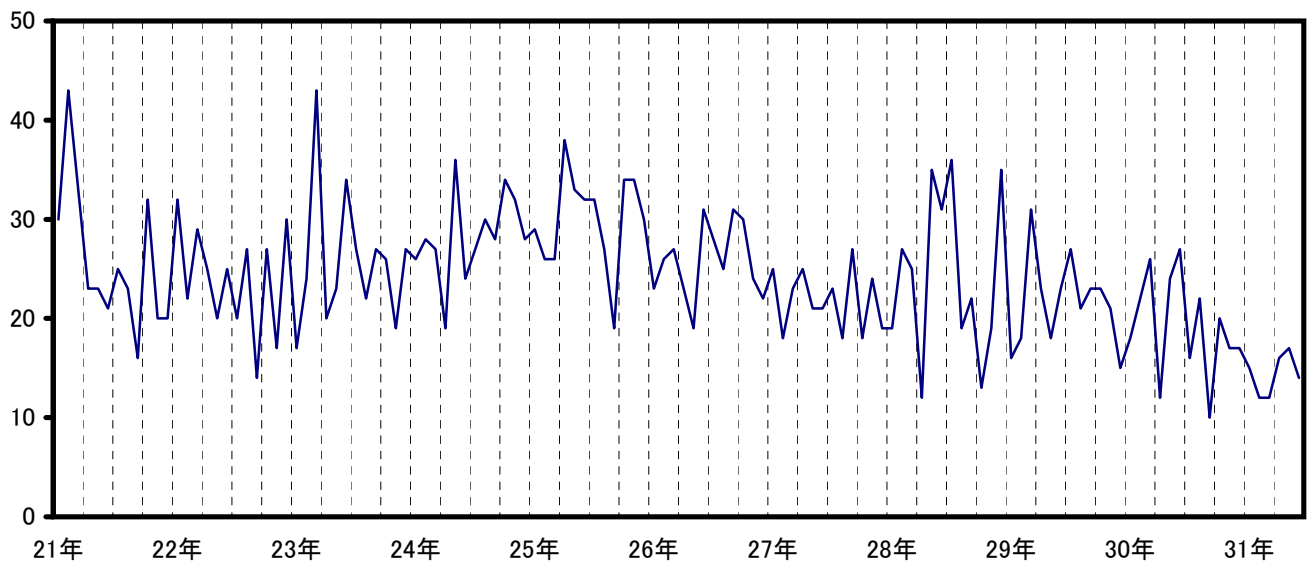
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 令和元年5月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>4月の国内二輪車生産台数は、39,977台（前年同月比25.2%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、9,414台（同26.1%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。原付第二種（51cc～125cc）は、4,631台（同29.0%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、3,499台（同11.7%減）で、7か月連続で前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、22,433台（同25.7%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、31,674台（同 5.9%減）で、8か月ぶりに前年実績を下回った。輸出向けは、28,832台（同28.7%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>4月の自動車国内生産台数は、814,351台（前年同月比 4.7%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。輸出は422,646台（同 2.2%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>国内生産は、乗用車、トラックがいずれも2か月ぶりに前年実績を上回ったことから、全体でも2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>5月の冷蔵庫の国内出荷額は327億円（前年同月比 0.9%増）で、4か月連続で前年実績を上回り、国内出荷台数は283千台（同 2.8%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>5月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは1,078千台（同 19.7%増）で、16か月連続で前年実績を上回った。業務用は87千台（同 22.8%増）で、8か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>5月の携帯電話の国内出荷台数は、1,088千台（同 0.7%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。うち、スマートフォンは、643千台（同 16.5%減）で、3か月ぶりに前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は 59.1%だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>5月の工作機械の受注総額は、1,085億3,500万円（前年同月比 27.3%減）で、8か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は658億2,500万円（同 23.8%減）で、8か月連続で前年実績を下回った。アジア向けが282億4,300万円（同 29.4%減）で、12か月連続で前年実績を下回った。内需は427億1,000万円（同 32.1%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>県内中小企業からは、「米中貿易摩擦の影響で仕事量が減少している。中国の経済状況による冷え込みが懸念される。」という声や「今年に入って納期の繰り延べが見られ、キャンセルにならないか危惧している。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>5月の県内楽器メーカーの販売金額は、53億5,212万円（前年同月比 0.5%減）で、8か月ぶりに前年実績を下回った。内訳は輸出向けが26億9,463万円（同 9.1%増）で、国内向けが26億5,749万円（同 8.6%減）だった。</p> <p>ピアノ生産台数は3,041台（同 8.3%増）だった。機種別では、アップライトピアノが1,997台（同 8.6%増）、グランドピアノが1,044台（同 7.9%増）だった。また、販売台数は、輸出向けが2,232台（同 6.0%増）、国内向けが1,195台（同 2.7%増）だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>5月の紙・板紙の国内出荷高は、1,925千トン（前年同月比 3.3%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。内訳は、紙は1,019千トン（同 2.8%減）で、24か月連続で前年実績を下回った。板紙は906千トン（同 3.9%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、564千トン（同 1.3%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、146千トン（同1.7%増）と、3か月ぶりに前年実績を上回った*1。</p> <p>*1先月は速報値により2か月ぶりに増加したと発表したが発表したが、確報値では、2か月連続で前年実績を下回ったに訂正された。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>5月の県内生産量は、食缶類が国内向け890千箱（前年同月比 7.3%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は600千箱（同 9.1%減）と8か月ぶりに前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は447千箱（同 7.5%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は290千箱（同 3.2%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが8,036千箱（同 0.1%増）と、4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡缶詰協会</p>
織 維	<p>5月の広幅織物の県内生産は、1,206千㎡（前年同月比 2.6%増）で、8か月連続で前年実績を上回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,089千㎡（同 0.9%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、117千㎡（同 51.5%増）で、20か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、26千㎡（同 14.8%減）で、14か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>5月の全国百貨店での家具販売額は、48億1,156万円（前年同月比 0.3%減）と4か月ぶりに前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、609億5,634万円（同 1.1%増）と14か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>5月の県内百貨店・スーパーの販売額は、32,493百万円（既存店前年同月比2.4%減）と前年実績を下回った。衣料品、身の回り品等全ての品目で昨年度の販売額を下回った。</p> <p>東部の食品スーパーへの聞き取りによると、売上げは前年同月と比べて減少したが、鮮魚、弁当・惣菜は前年同水準の売上高であった。弁当・惣菜は一人暮らしの高齢者や若者を中心に売上げを伸ばしている。ポイントサービス日に買いだめの傾向が見られ、客単価は増加している。</p> <p>中部の百貨店への聞き取りによると、寒暖差の大きさから衣料品の売上げが低調であった。また、前年、海外バイヤーの購入が多かった化粧品も、中国での規制が入ったことで売上げが伸び悩んだ。結果として全体の売上額が前年同月を下回った。インバウンドへの対策として、試験的に電話による翻訳サービスを利用している。</p> <p>西部の専門店への聞き取りによると、大型連休の後半に当たる5月初旬の売上げは期待していた程でなく、前年同月の販売額を下回った。その中で、タピオカを取り扱う店舗は、ブームを受け売上げを伸ばしている。また、消費者がキャッシュレス決済に付与されるポイントに敏感になっており、キャッシュレス決済比率が増加傾向にある。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>令和元年5月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約65万人で、前年同月比21.4%増だった。</p> <p>10連休の効果や静岡デスティネーションキャンペーンにおける積極的なPRにより、全体的に入込客数は好調だった。</p> <p>日本平ロープウェイは、久能山東照宮や日本平夢テラスへの来訪が好調だったことにより、利用者が前年度に比べて大きく増加した。</p> <p>主要有料道路（5路線）の合計通行は、約76万台となり、前年同月に比べて5.7%増だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

<二輪車>

	30年9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月
完成車生産台数(台)	21,457	29,265	26,209	24,560	24,286	25,212	21,861	18,909	18,538
前年同月比(%)	44.1	72.9	56.1	79.2	84.4	20.6	12.7	16.5	30.2
KD輸出額(百万円)	709	779	743	754	765	816	795	863	1,168
前年同月比(%)	43.0	29.3	22.5	42.0	41.9	25.4	54.2	14.7	103.6

<楽器>

	30年9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月
生産総額(百万円)	2,768	3,478	3,348	2,952	2,812	3,032	3,150	3,308	3,192
前年同月比(%)	▲10.1	5.3	0.4	▲10.5	10.9	4.4	2.5	6.4	1.1

<缶詰>

	30年9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月
食缶生産高(千ケース)	943	1,043	1,034	949	925	891	1,008	1,001	890
前年同月比(%)	▲2.2	7.9	4.2	6.1	14.8	1.4	0.0	5.8	▲7.3
うち水産缶詰(%)	▲0.6	6.4	2.5	7.0	18.8	0.5	0.7	5.9	▲9.1
農畜産缶詰(%)	▲6.3	11.3	8.5	4.2	5.3	3.3	▲1.2	5.5	▲3.2
飲料缶生産高(千ケース)	6,774	6,884	7,005	6,135	4,650	5,548	7,730	7,745	8,036
前年同月比(%)	7.6	15.8	10.4	11.3	▲0.9	6.8	11.2	12.7	0.1

<繊維>

	30年9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月
広幅織物(千㎡)	1,344	1,495	1,718	1,639	1,532	1,392	1,358	1,278	1,206
前年同月比(%)	▲4.7	0.1	2.4	3.1	1.1	4.4	2.0	0.4	2.6
小幅織物(千㎡)	27	29	31	31	29	27	26	27	26
前年同月比(%)	▲12.9	▲8.7	▲5.4	▲6.4	▲7.5	▲22.6	▲24.9	▲12.7	▲14.8

<観光>

	30年9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月
観光施設(10施設)入込 (千人)	354	372	393	283	305	278	480	557	651
前年同月比(%)	▲9.5	12.6	5.2	12.5	6.6	5.6	▲6.3	8.2	21.4
有料道路(5路線)通行量 (千台)	675	724	738	730	675	667	780	719	760
前年同月比(%)	▲4.1	8.1	0.4	0.7	5.6	6.8	▲0.3	2.8	5.7

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
令和元年7月号 通巻519号

発行 静岡県経済産業部
令和元年7月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>